

事例発表表	<p>(2)人材確保</p> <p>①自社の強み、良さ、特徴をあらゆる機会に、あらゆる手段で発信！</p> <p>②求職者目線で不安をなくす原稿を作り発信。</p> <p>③職場の雰囲気わかるよう職員がブログを発信。</p> <p>④人材派遣業の出会いの中で、介護の専門職だけでなく未経験者やその他の資格保持者を介護に繋げることが出来た。</p> <p>☆介護業界を盛り上げて行きたい！独自性を持って、あらゆる手段で情報発信していきたい、そんな熱い思いで、俣木氏はお笑いM-1グランプリにも挑戦されています。</p> <p>3. 筑波キングス・ガーデン 寺島亨智氏「福祉村の始まりと広がり」</p> <p>【ケアハウス後の施設運営の振り返り】</p> <p>筑波キングス・ガーデンの軽費老人ホームスタートからの歴史の歩みを紹介。 地域の必要に応え、様々な役割を担ってきた。</p> <p>◇特別養護老人ホーム⇒障害者施設⇒守谷市障害者福祉センター⇒ケアハウス(2015年1月)</p> <p>◇社会福祉法人制度改革の中で求められる地域貢献は、歩みの中で実践して来た。</p> <p>★介護タクシー、介護職員初任者研修、配食サービス等々</p> <p>【今後の広がり】</p> <p>◇障害者グループホーム開設予定</p> <p>その中には、児童養護施設としてのファミリーホーム、就労支援事業としてパン工房、喫茶室、保育室が入る予定</p> <p>◇法人の長期目標「筑波キングス・ガーデン福祉村を目指して」</p> <p>各4つの施設の事業計画を明確にし、法人の長期計画に繋げる。</p> <p>平成28年、29年、30年の資金積立計画を試算し、留保目的を明確にし目標へと歩みを進める。</p> <p>☆建設中のグループホームの図面と共に筑波キングス・ガーデン未来図が熱く語られました。</p>
検討課題	<p>①今後、施設を立ち上げる際に検討することは何か。</p> <p>*施設立上げの際に、教会・牧師がどのように関わったのか。地域の教会やキリスト教精神の教育機関との関連はどのようにしたのか。</p> <p>②介護職員の待遇(退職理由に給与が安いということはないか)</p>
課題に関する主な意見	<p>①*</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*開設準備祈禱会を行い、牧師に参加を募る。祈りの課題を共有し共に祈る。</li> <li>*理事・評議員に牧師がいると運営に協力的。</li> <li>*牧師・信徒に1回/月程度礼拝に来てもらう。半年に1度勉強会を開催。</li> <li>*施設内だけでなく教会でもセミナーを開催し課題、希望、夢を共有し理解・協力を得る。</li> <li>*教育機関においてもシンポジウムを開催した。</li> <li>*主を信じ、進むことが肝心。</li> <li>*職員の為のデボーションに牧師が参加し、その後入居者の為の礼拝を行う。</li> </ul> <p>②*</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*男性の寿退社がある⇒介護職では家族を支えられない現状はある。</li> <li>*他職種と大きな遜色はない。</li> <li>*支出の60%が人件費の中では、介護保険事業だけでは将来的には厳しい</li> </ul>
参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"> <li>*施設の魅力をどう見出しどのように発信・周知して行くのかが重要だと感じた。</li> <li>*原発事故の後のいわきで困難を抱えている方のためにキングス・ガーデンを作りたい。</li> <li>*各都道府県にキングス・ガーデンが出来ると良い。</li> <li>*多世代交流・多機能施設がキーワード。</li> <li>*母体が教会のため、人材・経済の支援を行ってもらえる。</li> <li>*運営・人材募集など様々なことを見える化することが重要。</li> <li>*人材不足の中、セクション間の協力ができるようになった。</li> <li>*海外からの人材も活用していく必要が今後はある。</li> <li>*困難な時代の中、御言葉を中心に実践しなければならない。</li> </ul>





笑顔・笑顔の交流会！  
全国各地の楽しいお土産  
ありがとうございました。。